

タイトル 農業者が組織する団体の農商工連携支援

JA名 JAバンク石川信連

1 動機 (経緯)	<p>JAバンク石川信連が事務局を務めるアグリファンド石川は、石川県の認定農家が中心となって創設した石川県全域をカバーする専業農家・農業法人による勉強会のための組織です。</p> <p>平成21年は、役員改選により新たな役員体制に移行し、20代から30代を中心とした、若い後継者・経営者を中心とした新たな活動を行うこととなりました。</p> <p>農業者ネットワーク組織のあり方を再検討すると同時に、参加会員の事業に直結する活動が必要ではないかと考え、いしかわ産業化資源活用推進ファンドからの助成を受け、農商工連携の取組みにより、地域の農産物を活用し、地域内で付加価値を高められる商品・ビジネスモデルを開発し、農林水産業を中心とした資源を活用することにより、地域の振興や雇用の創出を図ることを目的に研究・検討を進めています。</p>
2 概要	<p>第1段階として、アグリファンド石川の会員生産現場を商品開発の源泉と位置づけ、飲食、宿泊、食品加工会社等に参加を呼びかけて視察・体験見学し、実際の資源やその資源が生み出される環境を共有することにより、新しいビジネスアイデアの創造を活性化します。</p> <p>第2段階として、個別の企業と農家との協議・検討の場を設けます。そのために、研修会の後に個別にヒアリングを行う。そのことを踏まえ、マッチングを行います。</p> <p>第3段階として、協議・検討の結果を企画書にまとめる作業を農家と企業が参加して行います。</p>
3 成果(効果)	<p>第1段階として、平成21年12月と平成22年1月に農商工連携ツアーを開催し、視察・体験見学の後、商工者と協議・意見交換を実施しました。</p>
4 今後の予定 (課題)	<p>平成22年3月に第3回の農商工連携ツアーを開催し、その後、平成22年度の具体的な商品・ビジネスモデル開発に向けて、研究成果を取りまとめる予定です。</p>